



Vol. 23

2019年7月8日発行

つなげよう脱原発の輪

上越の会 会報

発行責任者：植木史将

福島を忘れない 2019

豊田直巳写真展『叫びと囁き』

フクシマ・7年の記録と記憶

【日時】2019年2月23日（土）～26日（火）

【会場】上越市オーレンプラザ エントランス

豊田直巳写真展の全国巡回プロジェクトに参加しました。40枚の写真とそれぞれに添えられた一言に「テレビでは、見えない部分が見られた」「8年経ったので復興が進み住民が戻っていると思っていた。知らないって怖い」「原発の恐ろしさがわかった」など感想を頂きました。3日間で300人の方に観ていただきました。

★8月5日から9月1日まで 柏崎市アルフォーレにて大反響につき再度、豊田直巳写真展開催します。



地域活性化イベント

『はるいろ縁日 2019』

【日時】2019年4月21日（日）

【会場】上越市市民プラザ

【主催】「四季の縁日」実行委員会



フード・健康・ハンドメイド・などなどさまざまな団体個人によるブース出展があり、家族で気軽に楽しくご参加いただける当イベントに、当会も出展いたしました。当会ブースの内容は、風船プレゼント、活動資金集めのフリーマーケット、恒例のシール投票は、「再生可能エネルギーをメインにした電力会社を知っていますか？」です。シール投票の結果は、知っている16名、知らない160名。合計176名の方に投票して頂きました。投票をしてくださった方には、再生可能エネルギーの電力会社のチラシを差し上げました。

再エネを主力にした新電力 「パルシステムでんき」説明会

【日時】4月25日(木)【会場】オーレンプラザ 1階 ロビー
【講師】新潟ときめき生協専務理事、長崎さん

私たちが今すぐ入って、
再エネを応援できる！
料金も大手電力と一緒に！！

電力自由化により私達は自由に電力会社を選べるようになりました。こんなに私達が原発の再稼働反対、廃炉を求めても一向に応じない大手電力会社、政府に少しでも対抗しようと他の電力会社と契約し、以前に頂いた「私は原発のない東北電力と契約したい!!」という私製葉書も郵送しようと思いましたが、しかし、じゃあどこの電力会社と契約しよう？その前に東北電力以外の電力会社を私は全く知らない...電気は毎日使うし一時も途切れさせる事はできない...!!となってしまいました。そんな時に知ったのがパルシステムでんき。

太陽光や水力、バイオマスを利用して発電している小規模電気を集めて売電している会社です。私はさっそくこの会社に電話して、不安に思っていることを訊いてみました。「停電はしませんか?」。答えは「はい、もちろん」。私はすぐに契約しました。知人にも話したところ、詳しく訊きたいということになり6人程集まり説明会を開いていただきました。この話は広がり、その後は三和区でも開くことが決まったようです。さあ、皆さんも東北電力以外の会社と契約しましょう!! 詳しくは私、田村まで(電話 090-5198-6448)

経済的にもまったく見合わない原発

「福島第一原発事故は、海外のエネルギー政策にも大きな影響を与えました」と話すのは、国内外のエネルギー事情に詳しい、ISEP 所長の飯田哲也さんです。

事故後、原発推進派だったドイツのメルケル首相は、2022年までに脱原発を実現することを宣言。イタリアでも国民投票で原発再稼働が再否決され、スイス、スウェーデン、台湾や韓国なども原発廃止や縮小の方向で動いています。原子力大国と言われるフランスでさえ、原発依存度を引き下げていく法案が成立しました。

「安全性や持続可能性といった観点だけでなく、そもそも原発の建設は、もう経済的にもまったく見合わないというのが世界的な認識です。メルトダウンのような大事故に備えるために安全機能を強化せざるを得なくなり、設備が巨大・複雑化しているので工事にかかる期間もコストも増大するためです」

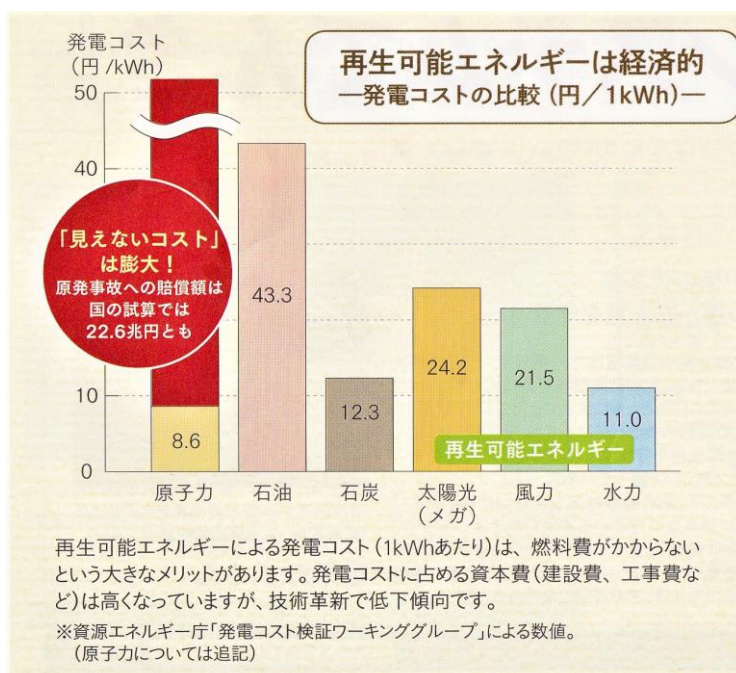
工期の長期化の一例が、13年前に着工したフィンランドのオルキルオト原発3号機です。フランス・アレバ社とドイツ・シーメンス社が請け負い、2009年完成予定でしたが、建設は大幅に遅れ、現在も工事が続いています。遅れに対しアレバ社はペナルティの支払いが課せられましたが、アレバ社の原子炉部門は実質的に倒産し、その部門だけが大手電力会社 EDF に吸収されました。

かつては数千億円といわれていた原発新設の事業費ですが、費用の増大も顕著です。

「イギリスでは約20年ぶりに新設の原発を造ろうとしています。現時点で事業費は約2兆6,600億円とされています。おそらく実際には工期が延びて、さらに費用は増えていくのではないのでしょうか」

これに対して、イギリス会計検査院も「最終的に、その負担を納税者が負うリスクが高い」と批判しています。しかも、イギリスの最新の洋上風力発電は従来の原発と同じまでに発電コストが下がっているのに、新しい原発が完成するころには風力発電のほうが安くなっているはずなんです。

(パルシステム放射能レポート2019年1月1回より)



福島からのメッセージ



新潟県妙高市の保養先にて

父親の葛藤と家族の幸せ

福島県いわき市 高橋さん

震災から8年が経ちました。長男は震災当時小学校入学目前でした。あの時、私達家族は、母子避難をして、関西で4か月あまりを家族ばらばらで過ごしました。

父である私は、離れ離れとなったその間、苦悩の日々でした。家族がこのまま離れて暮らし続けていたら、それは家族ではなくなってしまうのではないのか？でも一緒に福島に住むことで子供にもしものことがあったら、後悔してしまう。これから先、どうしたらいいのだろうか。

多くの不安が錯綜する中で、親として決めたのは、家族の絆は子供の成長には欠かせないということでした。家族一緒に住むことを優先したい。でも福島に住み続けるのはリスクがないとは言えない。そのため、できる限り、休日などを利用して県外での生活も継続することを家族で決めました。

自費で県外に出かけることもしましたが、正直金銭的にも限界があるので、たくさんの保養プログラムに参加させて頂きました。また時には家族で参加することで、私自身もたくさんのスタッフの方たちと出会い多くの繋がりができて、子供の将来のためだけでなく親にとっても素晴らしい機会となってきたと感じています。

長期にわたり母子避難を続けている方たちがいることも知っていますし、それも正しい選択だと思えます。私たち家族にとっては別の選択が最良と思えただけで、今も正解は見つからないというのが私の正直な気持ちです。

そんな中で、私は福島県の実態を知っていただき報道では聞こえてこない今を皆さんに伝えたいと思ってきました。8年たった今では、県民同士で放射能のリスクについて話すことは日常的には無くなりました。みな震災前と同じように暮らし、政府の言う Under Control を信じている人も少なくないと感じます。でもこの8年の間に、小さい子供が重い病気に罹ったり亡くなった話も何度か実際に聞きました。若いお母さんのガンに罹った話も聞きました。それが放射能のせいかどうか私にはわかりません。ただ自分が小学校、中学校と過ごしていた9年間で、クラスメートも学校の全生徒の中からも、亡くなった人はいなかったし、ガンを罹患したという話も聞くことはありませんでした。だから、えもしれぬ違和感を感じているという表現が一番適切かもしれません。何かおかしいと。

仕事柄外国人と話す機会もあるのですが、日本の政府は沢山の事を隠すようだけど、不平不満はないのかと聞かれることがあります。報道規制やさまざまな理由をつけて騙され続けてきた我々は、すでに異常を異常と感じないように麻痺しているのかもしれない。

原発から汚染水は今でも流れ続けています。全国紙の新聞では報道されずとも、福島県内の地方新聞では毎日のように原発関連の記事が掲載されます。廃炉への道は果てなく、原発の近くを通る高速道路は開通した、浜通りの復興が進むと言いつつも、車の窓も開けてはいけないと言われる高線量地域をこの高速道路は通ります。聖火リレーで通過することで、故郷を追われた人々が復興を感じる誰が信じているのでしょうか。以前、「うつくしま福島」と呼ばれた素晴らしい風景、おいしい食べ物の数々は失われてしまいました。未だ解決のめどさえもない多くの問題が福島には残っています。これからも福島の子どもたちへのサポートが続くことを心から願っています。



新潟県妙高市の保養先にて



私の思い



行政・議会・県民、それぞれの責任

橋本桂子（上越市春日山町）

3.11 をきっかけに、2012 年から県議会を傍聴するようになった。「大事なことを決めるなら、県民の声を聞いてほしい」との思いで、柏崎刈羽原発の稼働に係る原発県民投票条例の制定を県議会に求めたからだ。傍聴するようになって気がついたことは、県民の代表である議会で、「県民の声」はどのように扱われ、県がどのように応え、政策に反映しているのか、県民として私自身が全く知らずとしていなかったことだった。また、議会や行政の本来の目的と方法、議会や行政特有の言語を体得しないと、求めることを伝え、実現するための方法を提案することは難しいと感じた……外国の慣習と言語を知ることが外国人とのコミュニケーションの基本であることと同様に。

「知事の仕事は何であるとお考えか？」という質問に、泉田知事（当時）は「県民の生命・安全・財産を守ること。それが知事の仕事の全てだ」と答えた。花角知事に訊いてみたい。「広域避難計画」を要するような産業を、県が許容することは、行政の本来の目的に矛盾するのではないかと。現実に福島で原発事故は起きた。隣県の事故後の有り様を行政としてどのように受け止め、新潟の県政に反映させるのか。産業として原発は必要だとする地域の県民の声にどのように応えるべきなのか。

多様な県民の声がある。わたしたち県民も互いに、ひとりひとりの暮らしと人生、命と尊厳を大切にしながら、県民として、県議会での審議を見守り、「声」を届ける努力をしつづけたい。

プロフィール 主婦。柏崎刈羽原発の稼働の是非を問う県民投票条例の制定を求めて直接請求した市民団体「みんなで決める会」の共同代表。

《広告》

中古農機具と自然食品のお店
合資会社宮崎農機具店
 〒943-0227 新潟県上越市三和区番町1608
 TEL 025-532-2051 FAX 025-532-4078
 miyazakinoukiguteh@gmail.com
 宮崎農機具店 日・祝定休 / 土不定休 9:00~18:00

再生可能エネルギーと原発再稼働

第3回「標識に太陽光パネル」 *これいいね!*

再エネ発電が広がる一方で、メガソーラー発電所の環境破壊が指摘されています。最近目にする小さなソーラーパネル付き電光標識。使う所で小さな発電はいいですね！（山岸祐子）



地域情報

可搬式モニタリングポストに電光板装着！

2016年に設置された可搬式モニタリングポストに電光掲示板がついて線量がわかるようになりました。このモニタリングポストは、緊急時により細やかな観測



網で測定を行うためのものなので、測定値が公表されていませんでしたが、2018年10月より公開するようになりました。スマホでも見られます。(Y・Y)
<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/smartPhoneAppInfo.html>

♥つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表：植木史将 (090-4962-9633)

フェイスブック、ホームページ、随時更新しています！

カンパ募集中です

当会は皆様からのカンパで運営されています。ご協力よろしくお願いします。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・伊弉册（一

八）・普通預金・1316947

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

◇編集後記◇

▼早め早め、即行動が余裕を生み アクシデントやトラブル回避し 万全体制に！東電のこと？私のこと？(Y.Y)